



(題字 瀧澤 弘 学長)

第453号  
(平成14年9月号)

9月のトピックス

◇ 4日 遠山文部科学大臣が来学



△学長と懇談する遠山文部科学大臣

◇ 14日 夢大学 in TOYAMA '02 を開催



△パネル展示「留学生の国へ行ってみよう！」を見る女子高校生

## 目 次

関係法令	3
諸 会 議	3
学 事	
◆ 平成15年度入学者選抜の概要	4
◆ 再編・統合⑭	13
人 事 異 動	14
学 内 諸 報	
◆ 2002年外国人学生のための進学説明会に参加	15
◆ 遠山文部科学大臣が来学	16
◆ 総合研究棟竣工記念講演会・記念式典を開催	16
◆ 夢大学 in TOYAMA'02 を開催	17
◆ 附属学校園合同避難訓練及び平成14年度富山大学総合防災訓練を実施	17
◆ 機器分析センター研究会を開催	18
◆ 教養教育教員研修会を開催	18
◆ 富山地区国立学校技術職員研修を開催	19
◆ 外国人就学生のための説明会を開催	19
◆ 平成14年9月学位記授与式を挙行	20
◆ 平成14年度学内レクリエーション・ソフトボール大会で工学部チームが優勝	20
◆ 表彰	
◇ 山西教授がアメリカ合衆国マーレイ州立大学より功労賞を受賞	21
◆ 海外渡航者	22
主 要 行 事	23
資 料	
◆ 平成14年9月大学院博士学位記授与者一覧	25
夢 大 学 点 描	27

## 関 係 法 令

### (省 令)

- 日本体育・学校健康センター法施行規則の一部を改正する省令（文部科学38）（平成14. 9. 24官報第3452号）
- 国家公務員共済組合法施行規則の一部を改正する省令（財務52）（平成14. 9. 30官報号外第213号）

### (規 則)

- 人事院規則17-10（管理職員等の範囲）の一部を改正する人事院規則（人事院17-0-67）（平成14. 9. 30官報第3456号）

### (告 示)

- 社会教育調査規則の規定に基づき調査を行う年度等を定める件（文部科学176）（平成14. 9. 11官報第3445号）
- 出入国管理及び難民認定法第7条第1項第2号の基準を定める省令の留学及び就学の在留資格に係る基準の規定に基づき日本語教育機関等を定める件の一部を改正する件（法務409）（平成14. 9. 30官報第3456号）
- 国家公務員共済組合法施行令第11条の3の6第1項第2号の規定に基づき財務大臣が定める療養を定める件（財務362）（平成14. 9. 30官報号外第213号）

## 諸 会 議

### 入学試験実施委員会（9月17日）

#### （審議事項）

- (1) 平成15年度富山大学学生募集要項（一般選抜，専門高校・総合学科卒業生選抜，私費外国人留学生選抜）（案）について
- (2) 平成15年度富山大学学生募集要項（特別選抜）の入試情報開示について
- (3) 平成15年度入学試験の電算処理に伴う仕様書について

### 年史編纂委員会（9月19日）

#### （審議事項）

- (1) 富山大学50年史の進捗状況について

### 部局長会議（9月20日）

#### （審議事項）

- (1) 学生の除籍について
- (2) 文部科学省在外研究員候補者（短期在外研究員）の推薦基準について

### 評議会（9月20日）

#### （審議事項）

- (1) 学生の懲戒について



## 平成15年度入学者選抜の概要

### 平成15年度入学者選抜の概要と昨年度との主な変更点

#### 1 一般選抜

##### (1) 実施方式及び実施日程

日程は、国立大学協会からの「国立大学の入学者選抜についての平成15年度実施要領」に基づく変更であり、年月日並びに曜日の変更が主である。なお、【 】は、昨年度実施日程である。

- 出願期間 平成15年1月27日(月)～2月5日(水)【1月28日(月)～2月6日(水)】
- 検査期日 前期日程：平成15年2月25日(火)【2月25日(月)】  
後期日程：平成15年3月12日(水)【3月12日(火)】
- 合格発表 前期日程：平成15年3月7日(金)【3月7日(木)】  
後期日程：平成15年3月21日(金)【3月21日(木)】
- 入学手続 前期日程：平成15年3月14日(金)、15日(土)【3月14日(木)、15日(金)】  
後期日程：平成15年3月27日(木)【3月27日(水)】

##### (2) 募集人員

入学定員等（【 】は、昨年度入学定員等）

入学定員	1,395人【1,395人】
前期日程	815人【815人】
後期日程	302人【302人】
専門高校等選抜	8人【8人】
特別選抜	270人【270人】

##### (3) 出願資格

変更なし

##### (4) 入学者選抜実施教科・科目等

変更なし

#### 2 特別選抜

##### (1) 実施方式及び実施日程（【 】は、昨年度実施日程）

◎大学入試センター試験を課さない特別選抜（人文学部推薦入学を除く。）

- 願書受付 平成14年11月5日(火)～11月11日(月)【11月6日(火)～11月12日(月)】
- 検査期日 平成14年11月27日(水)【11月28日(水)】
- 合格発表 平成14年12月6日(金)【12月7日(金)】
- 入学手続 平成15年2月18日(火)【2月18日(月)】

## ◎大学入試センター試験を課す特別選抜（人文学部推薦入学）

- 願書受付 平成14年12月13日（金）～12月19日（木）【12月13日（木）～12月19日（水）】
- 検査期日 平成15年1月22日（水）【1月23日（水）】
- 合格発表 平成15年2月8日（土）【2月10日（日）】
- 入学手続 平成15年2月18日（火）【2月18日（月）】

## (2) 募集人員

変更なし

## (3) 出願要件

## ◎帰国子女特別選抜

「又は日本国の永住許可を得ている者」を追加

## (4) 入学者選抜実施教科・科目等

変更なし

## 3 私費外国人留学生選抜

## (1) 実施方式及び実施日程（【 】は、昨年度実施日程）

- 出願期間 平成15年1月27日（月）～2月5日（水）【1月28日（月）～2月6日（水）】
- 検査期日 平成15年2月25日（火）【2月25日（月）】
- 合格発表 平成15年3月7日（金）【3月7日（木）】
- 入学手続 平成15年3月14日（金）、15日（土）【3月14日（木）、15日（金）】

## (2) 募集人員

変更なし

## (3) 出願資格

文言を整理し、従来「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者」としていたが、日本での修学期間を含めてもよいことに改めた。

## (4) 入学者選抜実施教科・科目等

従来課していた私費外国人留学生統一試験並びに日本語能力試験に替わって、平成14年度から日本留学試験が実施されることから表のとおり本学が課す教科・科目等を表記した。

なお、本学が実施する学力検査等は、変更なし。

1. 入学定員（募集人員）

学部	学 科・課程等	入 学 定 員	一般選抜募集人員		専門高校・ 総合学科 卒業生選抜 (前期日程)	特別選抜募集人員			備 考
			前期日程	後期日程		推薦入学	帰国子女特別選抜	社会人特別選抜	
人文学部	人 文 学 科	60	36	13		10	若干名	1	
	国 際 文 化 学 科	50	30	11		8	若干名	1	
	言 語 文 化 学 科	75	45	17		12	若干名	1	
	計	185	111	41		30	若干名	3	
教育学部	学 校 教 育 系 (教育学・学校心理学・幼児教育専攻)	23	14	9					
	障 害 児 教 育 系 (障 害 児 教 育 専 攻)	7	5	2					
	言 語 ・ 社 会 系 (国語教育・英語教育・社会科教育専攻)	25	17	8					
	自 然 ・ 生 活 系 (数学教育・理科教育・技術教育・家政教育専攻)	25	19	6					
	芸 術 ・ 体 育 系 (音楽教育・美術教育・保健体育専攻)	20	7	5		8	若干名 (保健体育専攻)	若干名 (保健体育専攻)	推薦入学は、音楽教育専攻 2名、美術教育専攻3名、 保健体育専攻3名
	小 計	100	62	30		8	若干名	若干名	
	生 涯 教 育 課 程								
	発 達 臨 床 専 攻	10	4	3		3		若干名	
	生 涯 ス ポ ー ツ 専 攻	10	4	3		3	若干名	若干名	
	人 間 環 境 専 攻	20	14	6				若干名	
小 計	40	22	12		6	若干名	若干名		
情報教育課程	教 育 情 報 シ ス テ ム 専 攻	20	8	4		8		若干名	
	マ ル チ メ デ ィ ア 芸 術 専 攻	10	4	2		4		若干名	
	小 計	30	12	6		12		若干名	
計	170	96	48		26	若干名	若干名		
経済学部	昼 主 コ ー ス								
	経 済 学 科	135	80	31		24	若干名		
	経 営 学 科	115	71	24		20	若干名		
	経 営 法 学 科	95	59	20		16	若干名		
	小 計	345	210	75		60	若干名		
	夜 主 コ ー ス								
	経 済 学 科	20	3	7				10	
経 営 学 科	20	3	7				10		
経 営 法 学 科	20	3	7				10		
小 計	60	9	21				30		
計	405	219	96		60	若干名	30		
理学部	数 学 学 科	50	28	6		15	若干名	1	
	物 理 学 科	40	26	6		7	若干名	1	
	化 学 学 科	35	22	7		5	若干名	1	
	生 物 学 科	35	23	5		5	若干名	2	
	地 球 科 学 科	40	29	9			若干名	2	
	生 物 圏 環 境 科 学 科	30	19	5		5	若干名	1	
計	230	147	38		37	若干名	8		
工学部	電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科	88	52	18	2	15	若干名	1	
	知 能 情 報 工 学 科	78	45	16	2	14	若干名	1	
	機 械 知 能 シ ス テ ム 工 学 科	88	52	17	2	16	若干名	1	
	物 質 生 命 シ ス テ ム 工 学 科	151	93	28	2	27	若干名	1	
	計	405	242	79	8	72	若干名	4	
合 計	1,395	815	302	8	225	若干名	45		

2. 平成15年度富山大学入学者選抜方法等

(1) 一般選抜（前期日程）

学部・学科名		選抜方法等					個別学力検査等					専門高校・総合学科卒業生選抜				アドミッション・オフィス入試	個別学力検査等の日程	備考 (欠員の補充の方法等)	
		個別学力検査を課する					2段階選抜					個別学力検査を課する							募集人員
		実技検査	面接	小論文	外国語におけるリスニングテストを課する	その他	第1段階の選抜による合格者数	その他	実技検査	面接	小論文	外国語におけるリスニングテストを課する	実技検査	面接	小論文				
人文学部	人文学科																		
	国際文化学科	○	×	×	×	×		×	×			×	×	×	×	×	×	×	
	言語文化学科																		
教育学部	学校教育系	教育学専攻																	
		学校教育系	学校心理学専攻	×	×	×	○	×											
		幼児教育専攻																	
	障害児教育系	障害児教育専攻	×	×	×	○	×												
		言語・社会系	国語教育専攻																
			英語教育専攻	○	×	×	×	×											
	社会科教育専攻																		
	自然・生活系	数学教育専攻																	
		理科教育専攻	○	×	×	×	×												
		技術教育専攻					×		×	×		×	×	×	×	×	×	×	
		家政教育専攻																	
	芸術・体育系	音楽教育専攻	×	○	×	×	×												
		美術教育専攻	×	○	×	○	×												
		保健体育専攻	×	○	×	×	×												
生涯教育課程	発達臨床専攻	×	×	×	○	×													
	生涯スポーツ専攻	×	○	×	×	×													
	人間環境専攻	○	×	×	×	×													
情報教育課程	教育情報システム専攻	○	×	×	×	×													
	マルチメディア芸術専攻	×	×	×	○	×													

2月25日(火)

※美術教育専攻の個別学力検査等の実技検査等については、実技検査又は小論文のうちいずれかを選択させる。

選抜方法等 学部・学科名			個別学力検査等						専門高校・総合学科 卒業生選抜				アドミ SSION ・オ フィ ス入 試	個別 学力 検査 等 の 日 程	備 考 (欠員の補充の方法等)			
			実技検査等			2段階選抜			実技検査等							募 集 人 員		
			個別 学力 検査 を 課 す る	面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す る	外国 語 に お け る リス ニ ン グ テ ス ト を 課 す る	主として、調 査書の内容と 大学入試セ ンター試験 の第1行格 更新検査 により第1 段階選抜を 行う 者について 必要な検 査等を行う	第1段階の 選抜による 合格者数		個別 学力 検査 を 課 す る	実 技 検 査 を 課 す る	面 接 を 行 う					小 論 文 を 課 す る	外国 語 に お け る リス ニ ン グ テ ス ト を 課 す る
								定員 に 対 す る 倍 率	そ の 他									
経済 学部	昼間主 コース	経済学科													2 月 25 日 (火)	欠員補充の方 法等は、学生 募集要項に記 載		
		経営学科	○	×	×	×	×											
		経営法学科					×	×	×	×	×	×	×	×				
	夜間主 コース	経済学科																
		経営学科	×	×	×	×	×											
		経営法学科																
理 学部	数 学 科																	
	物 理 学 科																	
	化 学 科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					
	生 物 学 科					×	×	×	×	×	×	×	×					
	地 球 科 学 科																	
工 学部	電気電子システム工学科												2人					
	知能情報工学科	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	2人	×				
	機械知能システム工学科												2人					
	物質生命システム工学科												2人					

- (注) 1. ○印は、当該検査等を課すこと又は該当することを示す。  
 2. ×印は、当該検査等を課さないこと又は該当しないことを示す。  
 3. 調査書に㊦標示を希望する。(入学者選抜方法の研究資料として利用するため)



(2) 一般選抜 (後期日程)

学部・学科名	選抜方法等	個別学力検査等					専門高校・総合学科 卒業生選抜					アドミッション・オフィス入試	個別学力検査等の日程	備考 (欠員の補充の方法等)				
		実技検査等					2段階選抜											
		個別 学力 検査 を 課 す る	実 技 検 査 を 課 す る	面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す る	外国語におけるリスニングテストを課する	主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その者に必要となる者について検査を行う	第1段階の選抜による合格者数	その他	個別 学力 検査 を 課 す る	実技検査等							
											実 技 検 査 を 課 す る				面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す る	外国語におけるリスニングテストを課する	募 集 人 員
人文学部	人文学科														欠員補充の方法等は、学生募集要項に記載			
	国際文化学科	×	×	×	○	×		×	×	×	×	×	×	×				
	言語文化学科																	
教育学部	学校教育系	教育学専攻																
		学校心理学専攻	×	×	×	○	×											
		幼児教育専攻																
	障害児教育系	障害児教育専攻	×	×	×	○	×											
		言語・社会系	国語教育専攻															
			英語教育専攻	×	×	×	○	×										
	自然・生活系	社会科教育専攻																
		数学教育専攻																
		理科教育専攻	×	×	○	×	×		×	×	×	×	×	×	×			
		技術教育専攻																
芸術・体育系	家政教育専攻																	
	音楽教育専攻																	
	美術教育専攻	×	○	×	×	×												
保健体育専攻	保健体育専攻																	
	生涯教育課程																	
	情報教育課程																	
生涯教育課程	発達臨床専攻	×	×	×	○	×												
	生涯スポーツ専攻	×	×	○	×	×												
	人間環境専攻	×	×	×	○	×												
	情報教育課程	教育情報システム専攻	×	×	×	○	×											
		マルチメディア芸術専攻	×	×	○	○	×											

3月12日(水)

選抜方法等 学部・学科名			個別学力検査等						専門高校・総合学科 卒業生選抜					アドミッ ション・オ フィス入 試	個別学 力検査等 の日程	備 考 (欠員の補充の方法等)	
			実技検査等			2段階選抜			実技検査等								募 集 人 員
			個別 学力 検査 を課 する	実 技 検 査 を 課 す る	面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す る	外国 語に おけ るリ スニ ング テス トを 課す る	主として、調 査書の内容と 大学入試セ ンター試験 の成績によ り第1段階 選抜を行 う、その 合格者につ いて必要 な検査等 を行う	第1段階の 選抜による 合格者数	そ の 他	個別学 力検査 を課す る	実 技 検 査 を 課 す る	面 接 を 行 う				
経済 学部	昼間主 コース	経済学科													3 月 12 日 (木)	欠員補充の 方法等は、 学生募集 要項に記 載	
		経営学科	○	×	×	×	×										
		経営法学科						×	×	×	×	×	×	×			
	夜間主 コース	経済学科															
		経営学科	○	×	×	×	×										
		経営法学科															
理 学 部	数 学 科	×	×	×	×	×											
	物 理 学 科	×	×	×	○	×											
	化 学 科	×	×	×	○	×											
	生 物 学 科	×	×	○	×	×											
	地 球 科 学 科	×	×	×	×	×											
	生 物 圏 環 境 科 学 科	×	×	×	○	×											
工 学 部	電気電子システム工学科	×	×	×	×	×											
	知能情報工学科	×	×	×	×	×											
	機械知能システム工学科	×	×	×	×	×											
	物質生命システム工学科	×	×	×	○	×											

- (注) 1. ○印は、当該検査等を課すこと又は該当することを示す。  
 2. ×印は、当該検査等を課さないこと又は該当しないことを示す。  
 3. 調査書に㊦標示を希望する。(入学者選抜方法の研究資料として利用するため)

(3) 特別選抜

学部・学科名		選抜方法等		推 薦 入 学							備国子女・社会人等のための特別選抜			備 考 (欠員の補充の方法等)
		入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する							推 薦 入 学 募 集 人 員	婦 子 女	中 国 引 揚 者 等 子 女	社 会 人		
		個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課する	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する	実 技 検 査 等									そ の 他	
実 技 検 査 を 課 す る	面 接 を 行 う			小 論 文 を 課 す る	外 国 語 に お け る リ ス ニ ン グ テ ス ト を 課 す る	そ の 他								
人文学部	人文学科								10人					
	国際文化学科	○	×	×	×	○	×	×	8人	○	×	○		
	言語文化学科								12人					
教育学部	学校教育系	教育学専攻												
		学校心理学専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		幼児教育専攻												
	障害児教育系	障害児教育専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	言語・社会系	国語教育専攻												
		英語教育専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		社会科教育専攻												
	自然・生活系	数学教育専攻												
		理科教育専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		技術教育専攻												
		家政教育専攻												
	芸術・体育系	音楽教育専攻								2人			×	
美術教育専攻		×	○	○	○	×	×	×	3人		×			
保健体育専攻									3人	○		○		
生涯教育課程	発達臨床専攻	×	○	×	○	×	×	×	3人	×	×	○		
	生涯スポーツ専攻	×	○	×	○	×	×	×	3人	○	×	○		
	人間環境専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○		
情報教育課程	教育情報システム専攻	×	○	×	○	○	×	×	8人	×	×	○		
	マルチメディア芸術専攻	×	○	×	○	○	×	×	4人	×	×	○		

学部・学科名		選抜方法等		推 薦 入 学						帰国子女・社会人等のための特別選抜			備 考
		入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する						推 薦 入 学 募 集 人 員	婦 女	中 国 引 揚 者 等 子 女	社 会 人		
		個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課する	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する	実 技 検 査 等									
実 技 検 査 を 課 す る	面 接 を 行 う			小 論 文 を 課 す る	外 語 に お け る リ ス ニ ン グ テ ス ト を 課 す る	そ の 他	12人	12人	10人	10人	8人	8人	
経済学部	昼間主コース	経済学・科											推薦入学について 各学科の募集人員欄中、上段は職業教育を主とする学科以外の学科を、また、下段は職業教育を主とする学科を対象とした募集人員をそれぞれ示す。
		経営学科	×	○	×	○	○	×	×	○	×	×	
		経営法学科											
	夜間主コース	経済学科											
		経営学科	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
		経営法学科											
理学部	数 学 科	×	○	×	○	○	×	×	15人				○ × ○
	物 理 学 科	×	○	×	○	○	×	×	7人				
	化 学 科	×	○	×	○	○	×	×	5人				
	生 物 学 科	×	○	×	○	○	×	×	5人				
	地 球 科 学 科	×	×	×	×	×	×	×					
	生 物 圏 環 境 科 学 科	×	○	×	○	○	×	×	5人				
工学部	電気電子システム工学科								9人				推薦入学について ① 面接には、基礎学力に関する試問を含む。 ② 各学科の募集人員欄中、上段は普通科・理数科を、また、下段は専門教育を主とする学科(工業)及び総合学科を対象とした募集人員をそれぞれ示す。
	知 能 情 報 工 学 科								6人				
	機 械 知 能 シ ス テ ム 工 学 科	×	○	×	○	○	×	×	6人	○	×	○	
	物 質 生 命 シ ス テ ム 工 学 科								10人				
									6人				
									16人				
									11人				

- (注) 1. ○印は、当該検査等を課すこと又は該当することを示す。  
 2. ×印は、当該検査等を課さないこと又は該当しないことを示す。  
 3. 調査書に④標示を希望する。(入学者選抜方法の研究資料として利用するため)

## 再 編 ・ 統 合 ⑭

本学学内広報紙「富大速報」第16号に標記の記事が次のとおり掲載されました。

○富大速報第16号 『再編・統合⑭』

## 第6回新大学構想協議会報告

○第6回新大学構想協議会が平成14年7月29日（月）に富山医科薬科大学において開催されました。  
この協議会の議事概要は、以下のとおりです。

〔議 事〕

- 1 議事要録の確認について  
第5回協議会（6月25日開催）の議事要録が確認された。
- 2 「富山大学の構想案について」に対する「回答と質問など」について  
瀧澤学長から資料「回答と質問など」について説明があった後、質疑応答があった。
- 3 再編・統合について
  - (1) 管理運営体制について  
3大学長から資料に基づき各大学の管理運営体制案について説明があり、役員会・運営協議会の在り方、学部自治、学群構想等について種々意見交換があった。
  - (2) 3大学再編・統合のためのワーキンググループの設置について  
高久学長から資料に基づきWG設置の趣旨について説明があり、種々意見交換の後、協議会の下、教養教育WG、大学院WGを設置することが了承された。  
また、管理運営体制、学部編成については、暫時、協議会において協議することとした。
  - (3) パネルディスカッションの開催について  
3大学教職員を対象にした、3大学長によるパネルディスカッション（8月下旬開催予定）の実施が了承された。
  - (4) 学外からの陪席について  
次回から本協議会には、各大学の運営諮問会議委員2～3名程度及び富山県から複数名陪席していただくことが了承された。
- 4 その他
  - (1) 報道対応について  
今回の協議会に関する報道機関等への対応については、会場大学である富山医科薬科大学が責任をもつて行うことを確認した。
  - (2) 次回協議会について  
次回協議会は富山大学での開催となっており、開催日時等の詳細については事務局で調整することとした。

以 上

※再編・統合に関する情報を提供するために、富山大学ホームページ「学内向け情報」に（再編・統合情報）の項目を設置しました。富大速報はここからもご覧になれます。

# 人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏名	異動前の所属官職	異 動 内 容
採 用	14. 9. 1	高橋 純		講 師 教育学部 (技術教育)
	14. 9. 2	土田 亮子		事務補佐員 (教育学部)
	"	松井 輝代		臨時用務員 (教育学部炊婦)
	"	堰免 芳子		" ( " )
	"	仲谷千鶴子		" ( " )
	"	藤井 香		" ( " )
	14. 9. 12	橋本ますみ		技術補佐員 (総合情報処理センター)
辞 職	14. 9. 20	齋藤 益満	技術補佐員 (工学部)	辞 職
	14. 9. 30	中村 雅之	助教授 人文学部	"
併 任	14. 9. 1	佐伯 真人	教 授 教育学部附属教育実践総合センター	教育学部附属教育実践総合センター長 (~16. 8. 31)
	14. 9. 30	八木 保夫	教 授 経済学部	経済学部長 (~16. 9. 29)
	"	竹川 慎吾	" "	評議員 (~16. 3. 31)
併任解除	14. 9. 30	八木 保夫	評議員	併任解除

# 学 内 諸 報

## 2002年外国人学生のための進学説明会に参加

「2002年外国人学生のための進学説明会」が9月1日（日）マイドーム大阪（大阪）において、また、8日（日）には池袋サンシャインシティ文化会館（東京）において開催されました。

この説明会は、日本の大学等への進学を目指している外国人学生等に、進学希望に合った大学等を選択できるよう各大学の情報を提供するもので、本学を含めて大阪会場では111の大学が、東京会場では189の大学が参加し、大阪会場で1,200名、東京で4,500名にも及ぶ外国人学生等が訪れました。

本学ブースでは、パンフレットやポスターなどを展示したほか、国際交流委員会留学生部会委員の教官と留学生課職員が入学試験などに関する外国人学生の様々な質問などに対応しました。

また、自分の進学する大学を決めるため、いくつかの大学の資料を手に、熱心に質問をする学生達で会場は終始熱気に包まれ、毎年開催されているこの説明会の参加者が年々増加していることから、日本の大学への進学に人気が高まっていることが伺われました。

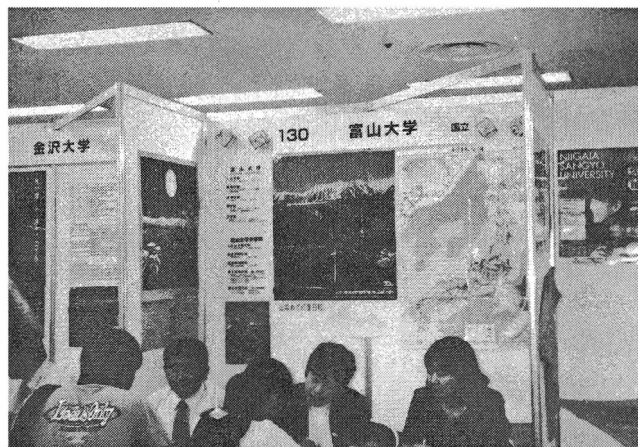
この説明会により、多くの外国人学生が本学を受験することが期待されています。



△大阪会場



△大阪会場



△東京会場

## 遠山文部科学大臣が来学

9月4日(水)に遠山敦子文部科学大臣が視察のため来学されました。

同大臣は学長室で瀧澤学長から入試過誤再発防止策や県内国立3大学の再編・統合への取組状況について説明を受けるとともに、教育学部の改組構想等について意見交換を行いました。

懇談の後、大臣は学内を視察し、整備が進む理学部校舎や附属図書館のヘルン文庫を見学しました。ヘルン文庫では、ラフカディオ・ハーンの「神国日本」の手書き原稿や文庫の由来等について、担当者の説明に聴き入っていました。

## 総合研究棟竣功記念講演会・記念式典を挙

9月10日(火)に総合研究棟竣功記念講演会及び記念式典が挙行されました。

式典に先立ち行われた講演会では、名古屋大学大学院理学研究科の三田一郎教授が「失われた反世界」と題して講演し、参加した約280名の一般市民、学生等に素粒子宇宙物理学の現況などをわかりやすく説明されました。

また、文部科学省、経済団体及び企業関係者等100名が出席した記念式典では、瀧澤学長の式辞の後、文部科学省大臣官房文教施設部長の祝辞を高技術参事官が代読されました。その後、西尾施設課長の工事概要報告が行われ、工事関係者へ学長から感謝状が贈呈されました。

式典に引き続き、総合研究棟玄関前でテープカットが行われ、出席者に施設が披露されました。



△講演する三田一郎 名古屋大学教授



## 夢大学 in TOYAMA '02 を開催

本学の大学開放事業「夢大学 in TOYAMA'02」が9月14日（土）に開催されました。

この「夢大学 in TOYAMA」は、本学に対する理解を深めるため、地域社会に開かれた大学として、教育研究活動の現状を積極的に公開し、特に将来を担う青少年に対して、理工系のみならず人文・社会系を含む科学全般についての興味・関心を喚起すること、また、地域産業界に対しては、より一層の連携・協力推進を図ることを目的として平成4年から毎年開催されているもので、本年度11回目を数えています。

黒田講堂で開催された総合開会式では、テープカットに引き続き、瀧澤学長の挨拶及び来賓祝辞が行われ、その後富山県立富山商業高等学校吹奏楽部によるドリル演奏が行われました。

今回の「夢大学 in TOYAMA '02」のイベントとして実験等展示及び体験入学が企画され、「大いに遊ぶゾーン」等5区分に分けた実験等展示では、課外活動の茶道部からの出展を含めた40テーマがパネル展示及び小実験方式により実施されました。特に、「人工オパールー自分の手で宝石を作るー」や「ガラス細工にチャレンジ」のコー

ナーでは、自分独自の宝石、キーホルダーやガラス細工を作るために、大勢の親子連れ及び小・中学生らがチャレンジしていました。

また、体験入学では、中学生以上を対象にした「留学生の国へ行ってみよう！」等29講座が開講され、大勢の参加者が教授・助教授等の指導のもと、熱心に受講していました。



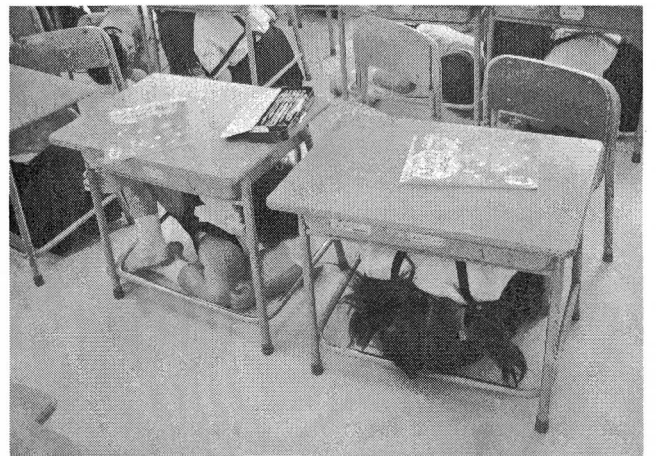
△黒田講堂で行われた開講式でのテープカット

## 附属学校園合同避難訓練及び総合防災訓練を実施

9月19日（木）に教育学部附属学校において、同日午前10時に富山県に強度の地震が発生したとの想定で、4校園合同の避難訓練が実施されました。この訓練は、今年初めて行われたもので、生徒達は教員の指示に従がい、速やかにグラウンドへ避難していました。

また、25日（水）には平成14年度富山大学総合防災訓練が実施され、早朝6時30分に震度6（強）の地震が発生したとの想定で、緊急時の連絡網による全学の通報連絡体制の確認が行われました。

さらに、同日13時30分から事務局において震度6（強）の地震を想定した地震時の対応訓練が実施され、通報連絡や避難誘導などの任務を割り振られた各職員はその職務をスピーディーにこなし、無事避難訓練を終了しました。その後行われた消火実技訓練では、初めて消火器を使用する職員もいて皆真剣に訓練に取り組んでいました。



△強地震が発生したとの想定で机の下に避難する生徒（附属小学校）

## 機器分析センター研究会を開催

9月20日（金）、機器分析センター2002年度第1回研究会が本学工学部会議室において開催されました。

この研究会は、最新の研究や分析技術に関する話題を基に、学内外を問わず関心のある人達と情報交換を行って、研究や技術内容を発展させるとともに、教育研究効果の向上に資する目的で発足しました。

今回は、同センターのナノ構造解析部門が中心となって企画・立案されたもので、「ナノテクノロジーに貢献する透過型電子顕微鏡の威力」をテーマとして開催され、理・工学部の教官や学生、県内企業等から約60名が参加しました。

研究会では、塩尻 詢 京都工芸繊維大学名誉教授による「HAADF-STEM法」及び門前亮一 金沢大学工学部教授による「モアレ稿解析による材料研究例」と題した招待講演があり、引き続き、岡部俊夫 理学部教授及び松田健二 工学部助教授による研究発表が行われ、透過型電子顕微鏡を利用した多種多様な研究方法が紹介されました。

その後、これらの発表に対して活発な議論が行われ、参加者は透過型電子顕微鏡の威力を改めて実感しました。



△講演する塩尻 詢 京都工芸繊維大学名誉教授

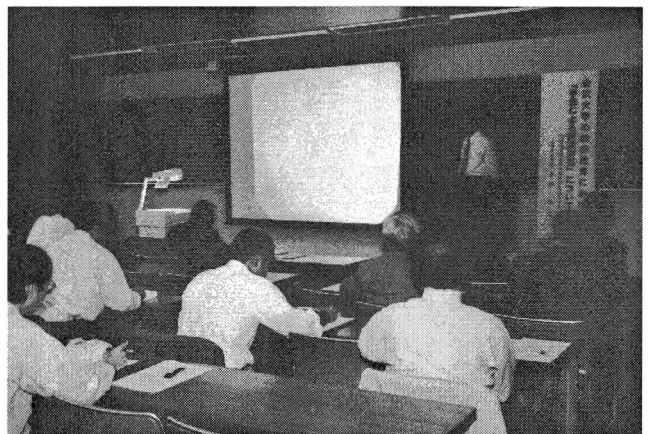
## 教養教育教員研修会を開催

9月26日（木）に第5回富山大学教養教育教員研修会が開催され、講演会、分科会及び全体討議会に学内外から教職員約70名が参加しました。

本学教養教育実施機構主催のこの研修会は、ファカルティ・デベロップメント（FD）の一環として平成10年度から毎年開催されているものであり、今回は「教養教育の充実を目指して」をメイン・テーマとして、最近強く対応が求められている第三者評価やJABEE（日本技術者教育認定機構）による認定、教養教育への導入に向けて作業が進んでいる学生による授業評価などが議題に選ばれ、真に充実した教養教育のあり方が探られました。また、初の試みとして、富山医科薬科大学及び高岡短期大学の教員にも参加が呼びかけられました。

講演会では、講師の金沢大学教養教育機構研究調査部長の古畑 徹 文学部教授が「金沢大学の教養教育における『学生による授業評価』について」と題する、極めて実践的で充実した内容の講演を行われました。その後開かれた3つの分科会（「教養教育における学生による

授業評価」、「教養教育の目的と目標－大学評価・学位授与機構による全学テーマ別評価との関連から－」、「学外からの要請に応える教養教育－JABEEなどへの対応を考える－」及び全体討議会では、活発な議論が行われました。



△金沢大学教養教育機構研究調査部長の古畑 徹 教授による講演会

## 富山地区国立学校技術職員研修を開催

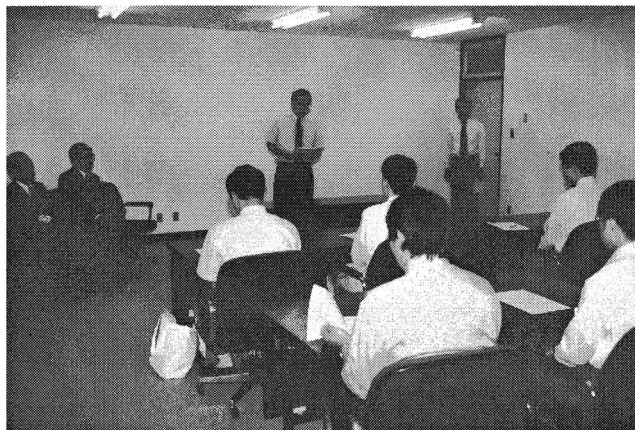
9月26日（木）に本学，富山医科薬科大学及び高岡短期大学において，第11回（平成14年度）富山地区国立学校技術職員研修が開催されました。

この研修は，富山県内国立学校の教室系技術職員に対し，必要な知識及び技術を習得させるとともに，相互啓発の機会を与えることにより，資質等の向上を図ることを目的として行われているものです。

本年度は4つのコースの研修が実施され，本学で「ワイヤ放電加工機を用いた特殊加工法」の1コースが，富山医科薬科大学では「R Iの基礎と放射線防護について」及び「Webページ作成のためのHTML 4.01の書き方入門」の2コースが，高岡短期大学では「銀を素材とした装身具の製作」の1コースが開催されました。

このうち，本学で行われたコースには県内4機関から10名が参加し，本学技術部長の袋谷賢吉 工学部教授の挨拶や講師の二宮英二 工学部技術専門職員の講義を熱心に聴講していました。

また，研修終了後の意見交換会では，各機関が保有する施設設備の相互利用等，今後における技術職員の資質の向上に向けた活発な意見が交わされました。



## 外国人就学生のための説明会を開催

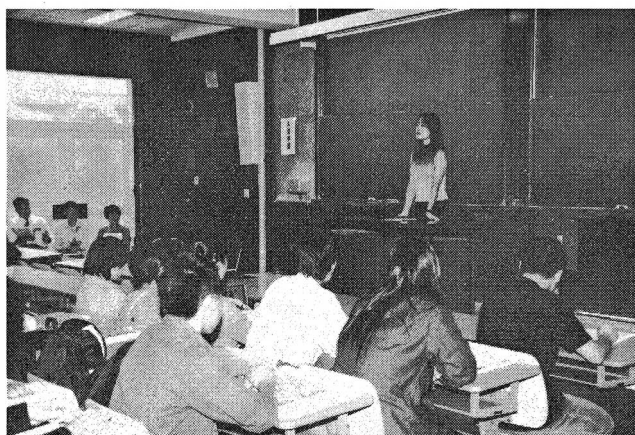
9月27日（金）に外国人就学生のための説明会が開催され，約40名の参加がありました。

この説明会は，日本語学校等で学んでいる外国人就学生で，富山大学へ進学を希望している者を対象に，本学の教育・研究上の特色等についての確かな情報を提供し，自らの留学にあった学部を選択させることを目的として昨年度から実施しているものです。

説明会では，塩澤副学長から本学の概要について説明があった後，本学に留学している5名の学生から，進学についての経験談や大学生活等についての体験発表や参加者との意見交換が行われました。

その後，入学を希望する学部別に，学部紹介等を含めた教官との懇談会やキャンパスの見学会が実施されました。

各参加者は，それぞれの学部で学ぶ教育・研究の内容や学生生活について理解を深めたようでした。



## 平成14年9月学位記授与式を挙

平成14年9月卒業（修了）者に対する学位記授与式が、9月30日（月）午前9時30分から黒田講堂において挙行されました。当日は、瀧澤学長をはじめ関係学部長が出席し、人文学部6人、教育学部6人、経済学部9人（昼間主コース7人、夜間主コース2人）、理学部3人及び工学部1人の卒業生27人と人文科学研究科1人及び理工学研究科（博士後期課程）6人の修了者7人の合計34人に学位記が授与されました。



続いて、瀧澤学長から、「常に批判的精神を持って判断し、同時に自己の周辺を可能な限り透明にして、一時の誤りがあってもそれをむしろ発展への契機にするよう努力してほしい」旨挨拶があり、静粛な雰囲気の中に式を終了しました。

## 平成14年度学内レクリエーション・ソフトボール大会で工学部チームが優勝

平成14年度学内レクリエーション・ソフトボール大会が6月17日（月）から7月12日（金）までの期間繰り広げられました。

昨年度は残念ながら開催されなかったこの大会も、平成12年度から複数部局合同編成チームによるリーグ戦形式が採られ、本年度は参加5チームが戦いました。

開催期間中は好天に恵まれて、グラウンドコンディションが比較的良好のこともあり、参加選手のファインプレーによる熱戦が繰り広げられた結果、工学部が全勝優勝しました。



なお、結果は次のとおりです。

- |     |                 |
|-----|-----------------|
| 優 勝 | 工学部チーム          |
| 準優勝 | 総務部、附属図書館チーム    |
| 第3位 | 経理部、経済学部チーム     |
| 第4位 | 施設課、人文学部・理学部チーム |
| 第5位 | 学生部、教育学部チーム     |

表

彰

**山西教授がアメリカ合衆国マーレイ州立大学  
より功労賞を受賞**

9月10日（火）、山西 潤一教育学部教授が本学とアメリカ合衆国マーレイ州立大学遠隔教育研究センター及び教育学部との間のテレビ会議共同学習に対して多大な貢献を行ったとして、同大学より功労賞を受賞されました。

山西教授は教育学部情報教育課程教育情報システム専攻所属。専門は教育工学。



# (海) (外) (渡) (航) (者)

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡航先国	目 的	期 間
外国出張	人文学部	助教授	梁 有 紀	タイ, マレーシア, インドネシア	華文文学の調査・研究	14. 9. 1 } 14. 9. 7
	工学部	教授	米田 政明	シンガポール	第5回IEEE Intelligent Transportation Systems国際会議に出席, 研究発表	14. 9. 2 } 14. 9. 6
	理学部	助手	山崎 裕治	ド イ ツ	ヤツメウナギに関する分子遺伝学的研究及び打合せ	14. 9. 4 } 14. 9. 16
	工学部	講師	加賀谷重浩	マレーシア	The 5th ASIAN SYMPOSIUM ON ACADEMIC ACTIVITIES FOR WASTE MANAGEMENTに出席・発表	14. 9. 7 } 14. 9. 14
	人文学部	助教授	竹内 潔	連 合 王 国	第9回国際狩猟採集社会研究者会議に出席, 発表	14. 9. 8 } 14. 9. 15
	理学部	助教授	藤 浩明	アメリカ合衆国	NPS-IFREE MARGINS Workshop On The Izu-Bonin-Mariana Subduction Systemに出席, 講演	14. 9. 8 } 14. 9. 14
	教育学部	教授	山西 潤一	アメリカ合衆国	国際共同学習カリキュラムに関する研究打合せ, 資料収集	14. 9. 9 } 14. 9. 16
	工学部	助教授	丹保 豊和	ロ シ ア	第5回日露半導体表面セミナーに出席, 研究発表	14. 9. 15 } 14. 9. 20
	工学部	教授	龍山 智榮	ロ シ ア	第5回日露半導体表面セミナーに出席, 研究発表	14. 9. 15 } 14. 9. 20
	教育学部	助教授	黒田 卓	アメリカ合衆国	米国の社会教育施設における学校との連携に関する調査	14. 9. 15 } 14. 9. 24
	工学部	助手	森 雅之	ロ シ ア	第5回日露半導体表面セミナーに出席, 研究発表	14. 9. 15 } 14. 9. 20
	教育学部	教授	大森 克史	フ ラ ン ス	ワークショップ「多物質圧縮流体の数値解法」に出席, 資料収集	14. 9. 23 } 14. 10. 2
	人文学部	講師	和田とも美	韓 国	20世紀初期人物伝資料の収集	14. 9. 27 } 14. 10. 4
	工学部	助教授	岡田 裕之	フ ラ ン ス	Eurodisplay2002に出席, 研究発表	14. 9. 29 } 14. 10. 6
	海外研修	人文学部	助教授	藤野 真子	中 国	清末~民国期の上海を中心とする江南地域における京劇・地方劇関係資料の調査・研究
経済学部		助教授	近藤 和哉	フ ラ ン ス	フランスにおける触法精神障害者の処遇についての研究	14. 9. 3 } 14. 10. 3
教育学部		助教授	橋爪 和夫	連合王国, フランス, スイス, ドイツ	学校体育カリキュラムの実状視察, 資料収集	14. 9. 9 } 14. 10. 7
理学部		助手	池本 弘之	ドイツ, スイス	Liquid Matter Conferenceに出席, 研究発表	14. 9. 11 } 14. 9. 22
工学部		助手	喜久田寿郎	フ ラ ン ス	国際強誘電ドメインシンポジウム (ISFD7) に出席, 発表	14. 9. 12 } 14. 9. 27
教育学部		教授	市瀬 和義	韓 国	研究打合せ	14. 9. 12 } 14. 9. 14
工学部		教授	熊澤 英博	中 国	河川浄化試験現場の視察と試験結果の解析・考察, 試験計画の討議	14. 9. 19 } 14. 9. 27
教育学部		教授	西川 友之	アルゼンチン	世界バレーボール選手権の競技運営に関する調査研究	14. 9. 22 } 14. 10. 16

# 主 要 行 事

## 本 部

- 9月1日 2002年外国人学生のための進学説明会（於：  
マイドーム大阪）
- 2日 事務局連絡会
- 4日 低温液化室講演会
- 6日 臨時東海・北陸地区国立大学事務局長会議  
（於：名古屋・マリオネットアソシアホテル）  
国立学校等経理部課長会議（於：東京医科  
歯科大学）
- 8日 2002年外国人学生のための進学説明会（於：  
池袋サンシャインシティ文化会館）
- 9日 事務局連絡会
- 10日 総合研究棟竣工記念講演会・式典・祝賀会
- 14日 夢大学 in TOYAMA'02
- 17日 入学試験実施委員会  
運営会議
- 20日 部局長会議  
評議会  
再編・統合検討委員会
- 25日 新大学構想協議会（於：富山大学）  
防災訓練  
事務協議会  
安全管理委員会  
平成14年度とやま産学官交流会（於：富山  
県立大学）
- 26日 東海北陸地区管理事務協議会（於：ホテル  
日航金沢）
- 27日 東海北陸地区国立学校等総務部課長会議  
（於：ホテル日航金沢）  
富山大学法人化準備委員会
- 30日 平成14年9月学位記授与式  
生涯学習教育研究センター運営委員会  
再編・統合検討委員会

## 附 属 図 書 館

- 9月19日 年史編纂委員会

## 教 養 教 育

- 9月26日 教養教育教員研修会

## 人 文 学 部

- 9月4日 学部入学試験委員会  
学部予算委員会
- 10日 学部教務委員会  
学部入学試験委員会
- 11日 教授会  
学部予算委員会
- 18日 学部入学試験委員会
- 24日 学部入学試験委員会  
学部学生生活・就職指導委員会
- 25日 学部教務委員会  
教授会

## 教 育 学 部

- 9月2日 附属小学校，附属養護学校及び附属幼稚園  
第2学期始業式
- 4日 配分比率評価委員会  
教育実習運営協議会  
教育学部及び附属学校園共同研究プロジェ  
クト研究大会実行委員会代表者会議
- 6日 学部教務委員会
- 9日 学部学生生活委員会
- 10日 学部入学試験委員会
- 11日 教授会  
人事教授会
- 19日 附属学校園合同避難訓練
- 24日 附属学校運営委員会
- 25日 学部将来構想委員会  
教育学部及び附属学校園共同研究プロジェ  
クト研究大会各係打合せ会及び実行委員会  
代表者会議
- 26日 北陸地区教員養成学部事務長協議会（於：  
福井大学）
- 27日 学部将来構想委員会

28日 附属幼稚園運動会

## 工 学 部

- 9月9日 学部運営委員会  
 10日 学部教務委員会  
 11日 学部将来計画委員会  
 教授会  
 専任教授会  
 理工学研究科博士前期課程工学部会  
 理工学研究科博士後期課程部会  
 大学院部会拡大WG (理・工)  
 17日 大学院部会拡大WG (理・工)  
 18日 大学院部会拡大WG (理・工)  
 20日 大学院部会拡大WG (理・工)  
 27日 学部安全管理委員会実験排水安全管理専門  
 部会  
 学部入試検討委員会

## 経 済 学 部

- 9月3日 学部入学試験委員会  
 5日 学部国際交流委員会  
 6日 将来構想等検討委員会  
 10日 学部教務委員会  
 11日 研究科委員会小委員会  
 人事教授会  
 研究科委員会  
 教授会  
 17日 学部入学試験委員会  
 生涯学習・広報委員会  
 24日 学部教務委員会  
 25日 平成14年度大学院経済学研究科 (修士課程)  
 入学試験  
 26日 学部総務委員会

## 地域共同研究センター

- 9月4日 企業訪問 (コーセル (株))  
 6日 サテライト技術相談 (滑川会場)  
 18日 運営委員会 (持ち回り)  
 20日 大学院生教育講座 (北陸電力 (株))

## 理 学 部

- 9月3日 学部予算委員会  
 学部法人化対応委員会  
 学部安全管理委員会排水安全専門委員会  
 学部安全管理委員会動物実験安全専門委員  
 会 (持ち回り)  
 5日 学部入試委員会  
 大学院理工学研究科博士前期課程理学部会  
 (臨時)  
 11日 大学院理工学研究科博士前期課程理学部会  
 教授会  
 人事教授会  
 大学院理工学研究科博士前期課程理学部会  
 専任教授会  
 大学院理工学研究科博士後期課程部会  
 大学院部会拡大WG (理・工)  
 12日 大学院理工学研究科博士前期課程合格発表  
 17日 大学院部会拡大WG (理・工)  
 18日 大学院部会拡大WG (理・工)  
 19日 学部安全管理委員会放射性同位元素等安全  
 専門委員会  
 20日 大学院部会拡大WG (理・工)  
 学部安全管理委員会排水安全専門委員会

## 総合情報処理センター

- 9月5日 広報研修専門委員会

## 留 学 生 セ ン タ ー

- 9月18日 日本語研修コース閉講式  
 24日 運営委員会  
 外国人就学生のための説明会

## 水素同位体科学研究センター

- 9月27日 運営委員会

## 機 器 分 析 セ ン タ ー

- 9月20日 研究会

## 極東地域研究センター

- 9月30日 学術懇談会





## 平成14年9月大学院博士学位記授与者一覧

## 【理工学研究科（博士後期課程）】

専攻	氏名	論文題目
システム科学	加藤隆広	道路案内標識の抽出並びに認識に関する研究

平成14年3月31日付け

## 【理工学研究科（博士後期課程）】

専攻	氏名	論文題目
物質科学専攻	藤森洋行	シリコン結晶中の微小欠陥形態に関する研究

平成14年9月30日付け

## 【理工学研究科（博士論文提出による学位授与者）】

氏名	氏名	論文題目	授与年月日
システム科学	吉澤壽夫	スパッタ膜の堆積と金属マスクの熱変形に関するシミュレーション解析	平成14年9月30日
物質科学	島崎利治	Pr系遷移金属複合酸化物の合成と物性に関する研究	平成14年9月30日
エネルギー科学	金原清之	一様流を用いた換気の効率に関する研究	平成14年9月30日
生命環境科学	山内歌子	イネ病斑葉遺伝子 <i>Spl7</i> の単離と構造解析	平成14年9月30日



# 夢大学 in TOYAMA '02 点描





△附属図書館のヘルン文庫について説明を受ける遠山文部科学大臣



△総合研究棟竣工を記念して行われたテープカット

編集 富山大学総務部企画室 〒930-8555富山市五福3190 TEL.(076) 445-6029 FAX.(076) 445-6033  
印刷所 あげぼの企画(株) 〒930-0031富山市住吉町1-5-8 TEL.(076) 424-1755 FAX.(076) 423-8899